

**研究用試薬****ヒストファイン**

アルカリフォスファターゼ基質キット

ファーストレッドⅡ基質キット

ファーストレッド溶液 (試薬 A)

基質緩衝液 (試薬 B)

包装 : 300 テスト

Code:415261

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地 6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

1. 内容

アルカリフォスファターゼ基質キット・・・ファーストレッドⅡ基質キットは2種類の試薬から構成される。液状。

ファーストレッド溶液 (試薬 A)

・・・ 0.6 mL×1本

基質緩衝液 (試薬 B)

・・・ 40 mL×1本

2. 使用目的

アルカリフォスファターゼの発色。

この基質はアルカリフォスファターゼと反応すると不溶性の赤色沈澱を生じる。

****3. 基質溶液の調製**

ファーストレッド溶液(試薬 A)1滴(約 50 μ L)を、基質緩衝液(試薬 B)2.5mLに加え、よく混合する。30分以内に使用する。

***4. 使用方法**

酵素試薬の添加、反応、洗浄^{注1)}の後、スライド上の組織切片が完全に覆われるように、基質溶液を滴下し、常温(15-25℃)で10-15分間インキュベートする。発色の状態は顕微鏡で確認する。発色反応が十分に行われたら、スライドガラスを水洗して反応を止め、乾燥による脱水の後、キシレンに数秒間浸して透徹し、非水溶性封入剤(Code:415141)で封入し、標本とする。エタノールによる脱水、キシレンによる透徹後、非水溶性封入剤(Code:415141)で封入し、標本とすることも可能であるが、組織切片上に沈着した赤色色素は、アルコールの使用により若干の退色がみられるため、発色反応が非常に弱い場合には、エタノールによる脱水は避けること。

第二抗体として、ヒストファイン シンプルステイン AP(M)(Code:414241)、シンプルステイン AP(R) (Code:414251)、シンプルステイン AP(MULTI)(Code:414261)を使用した時、過度の染色がみられる場合がある。この場合は、シンプルステイン APを1%BSA/TBSで2倍希釈するときれいな染色が得られる。

注1) 免疫組織化学染色を行う際の切片の洗浄をリン酸緩衝生理食塩水(PBS) (pH7.6 \pm 0.2)を用いて行う場合、発色直前の洗浄には0.05M トリス塩酸緩衝生理食塩水(TBS)(pH7.6)^{注2)}を用いること。

注2) TBSの作製方法

(1)10倍濃縮のTBS(0.5M Tris-HCl、1.5M NaCl/ pH7.6)を作製する。

①TRIZMA base (SIGMA Code:T-1503) 30.3gを蒸留水400mLに溶かす。

②塩酸でpH7.6に調製する。

③塩化ナトリウムを43.9g加え溶かす。

④500mLにメスアップする。調製液は常温で保存する。

(2)使用時に蒸留水で10倍に希釈する。

****5. 貯法および使用上の注意**

1. 2-8℃保存。
2. 使用期限はラベルに記載されているので使用前に確認すること。
3. 使用前に室温に戻すこと。
4. 使用後は速やかに冷蔵保存すること。
5. 異なるロットの試薬や他製品の試薬を混ぜたりしないこと。

****6. 取扱上(危険防止)の注意**

1. 使用期限の過ぎた試薬は使用しないこと。
2. 本製品に関する安全情報は安全データシートを参照すること。
3. 本品を吸い込んだり、眼、口、皮膚、衣類などへの接触を避けること。
4. 本製品の廃棄の際には、各施設や地域および国のルールに従い、適切に廃棄すること。
5. ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織（細胞）化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

■研究用としてのみ使用すること。